

門真市魅力ある教育づくり審議会

開発的生徒指導について

門真市教育委員会
学校教育課

「門真市開発的生徒指導」はなぜ必要か？

「旧来の生徒指導」の考え方や方法
では課題解決が難しい



問題行動

不登校

学校生活への不応応

旧来の生徒指導



問題の発生

対応

指導

予防

必要なければ



うちの学校は生徒指導上の課題はない



このような考え方をすると・・・

生徒は教師の
いうことを聞くものだ



学校の
枠組みの中で
成長するものだ

教師の生徒指導の枠内に入らない子どもは、
「その子自身に問題がある」
「その問題を直せば受け入れる」
とってしまった

○イマドキの子ども

一見普通の成育歴・家庭環境だが、
学校の秩序を乱す・教師の指導に従わない

したくないことは
しない。



したいことはする。

気分・好き嫌いを優先

悪いことだから
やめなさい

学校だから
こうなさい

高圧的に接する、罰やペナルティでの対応は
反発・反抗、学校からの逃避につながる。





悪循環の発生

より関係が悪くなる

教師のいうことをきかない
学校の枠組みに収まらない



時間や労力に対して効果が少なく、教師が疲れてしまう。
そうした生徒を「見捨ててしまう」こともある。



問題行動を繰り返す生徒、不登校の生徒
個別の配慮が必要な生徒もすべて含めてのこと

目的

すべての児童生徒の
自己実現への指導・支援

学校教育の様々な場面、
領域で指導

居場所がある、
授業や活動に前向き、
豊かな人間関係

学校生活に意欲や充実感を持てる

結果

問題行動の減少

自己実現とは

自己の内面的欲求を社会生活において実現すること。単に自分の欲求や要求を実現するに留まらず、集団や社会の一員として認められていくことを前提とした概念である。

【生徒指導提要より】

**門真市
開発的
生徒指導**

ア.

信頼関係の構築と
自尊感情の育成

イ.

子どもの世界
を広げる活動

オ.

連携による
多面的支援

エ.

安心して
学べる学校
と学校組織

ウ.

わかる・
認められる
授業

どんな場面でどのように対応すべきか？

ア.信頼関係の構築と
自尊心の育成

①指導に従わない時や 問題を起こした時（I）

~~頭ごなしの指導、
威圧と体罰~~

**傾聴
振り返り
支援**



それはダメです！
謝りなさい！責任をとりなさい！

頭ごなしの指導ではなく

どんな気持ちだったの？
今、どう思っている？

傾聴することから始め
自身で振り返りができる
よう支援する



教師は「敵」ではなく、自分たちのことを想い、愛情を持って関わってくれている人だ
ということを具体的な場面で感じさせる配慮や気配りや指導方法の工夫を行う

どんな場面でどのように対応すべきか？

ア.信頼関係の構築と
自尊感情の育成

①指導に従わない時や 問題を起こした時(Ⅱ)

~~いつもこうしている、
他の生徒はこのやり方で通じた~~

発達障がい、
成育歴・家庭環境に問題 など



背景や特性の理解
プラスになる対応

専門家の助言や
支援

症状

背景

「生徒を学校に合わせさせる」のではなく、
「生徒に合った対応法を考える」視点

どんな場面でどのように対応すべきか？

ア.信頼関係の構築と
自尊感情の育成

②「何かをさせよう」と
する時

~~多くの一般的な生徒が理解できた~~

発達障がい・課題のある生徒

~~「頑張りなさい！」
「うまくやりなさい！」~~

意義や意味、
手だてを提示し、
モチベーションを
高める

その子に応じた
対応法を創る

「ユニバーサルデザイン」
の観点

その子が理解できる(受け入れることができる)
手立てや方法を考える視点



どんな場面でどのように対応すべきか？

ア.信頼関係の構築と
自尊感情の育成

③子どもどうしの 人間関係づくり(Ⅰ)

ケンカをしてはダメ！
人の気持ちを考えなさい！



コミュニケーション力は育たない



やり方がわからない

~~言葉や文章
による指導~~

「やり方」を教え、
「経験」させ、
「身に付けさせる」

◎「参加体験型学習」(ワークショップ)

コミュニケーションを身に付けさせるための手法
どんな力をつけるのか目標をはっきり持つ

「ソーシャルスキルトレーニング」

「ピア・サポート活動」

「グループエンカウンター」

「アサーショントレーニング」

「グループワークトレーニング」等

目標

計画的

系統的

組織的

どんな場面でどのように対応すべきか？

ア.信頼関係の構築と
自尊感情の育成

③子どもどうしの 人間関係づくり(Ⅱ)

人間関係づくりが苦手

自閉症スペクトラム、
愛着障がいの生徒 など



理解されない
馬鹿にされる
いじめられる

ケンカ
トラブル

周りの子どもたちへの
理解の働きかけ

継続的な
細やかな指導

「違いがあっても共に生きる」資質の育成
⇒人権の尊重、学校に居場所がある



信頼関係の構築

子どもたちは……

先生は、「自分の
ことをわかろうと
してくれてる？」



先生は、「本気で
自分に関わろうと
してくれてる？」

「教師」の考えに沿わない
子どもに対しても

・人格の尊重

・思いに寄り添う

・「自己実現」への
支援・指導

・教師への
信頼

・心を開く

・教師の
いうことをきく

高める
自尊感情を

門真市開発的生徒指導の目標

「集団や社会の一員として自分らしく生きる。」

⇒ **自己指導能力の育成**
(自己選択・自己決定・実行)

特別 活動

- ・学級活動
- ・学年の活動
- ・児童会・生徒会活動
- ・その他の活動

集団や社会の
一員としての
態度を育てる

キャリア 教育

- ・めざす子ども像
- ・各教科、ICT活用、進路指導
- ・職業調べ、職業講話、職業体験
- ・社会見学

自分らしい
生き方を
実現する

授業時間＝学校生活の中で一番長い時間



一見、まじめに見える生徒も……

~~自己実現に
つながる学力~~

~~充実感
達成感~~



教師による
知識注入型の授業

どの子にとっても、「わかる・認められる授業」

させられるのは苦手



興味があることには
集中

自分が活躍できる
場面ではがんばる

導入の工夫

指導法の工夫

安心して授業に参加で
きる学習集団の形成

出番がある・わかる喜び・達成感・充実感⇒次の学習意欲

どの子にとっても、「わかる・認められる授業」

ユニバーサルデザイン
(誰にも分かりやすい)

アクティブラーニング
(主体的・対話的で深い学び)

授業研究体制を確立

導入の工夫

指導法の工夫

安心して授業に参加できる
学習集団の形成

出番がある・わかる喜び・達成感・充実感⇒次の学習意欲

生徒指導の状況把握



- 子どもの状況
- 教員の指導の状況
- 生徒指導体制の状況

指導基準・指導内容・指導方法の共有



- 子ども、保護者、教職員の間で共通理解
- 教職員全員で徹底
- 統一した指導

才.連携による
多面的支援

教師が一人で抱え込まない体制づくり

||

チーム対応(校内連携)...

校内ケース会議

教師以外の目を入れる

問題
行動

ケース会議

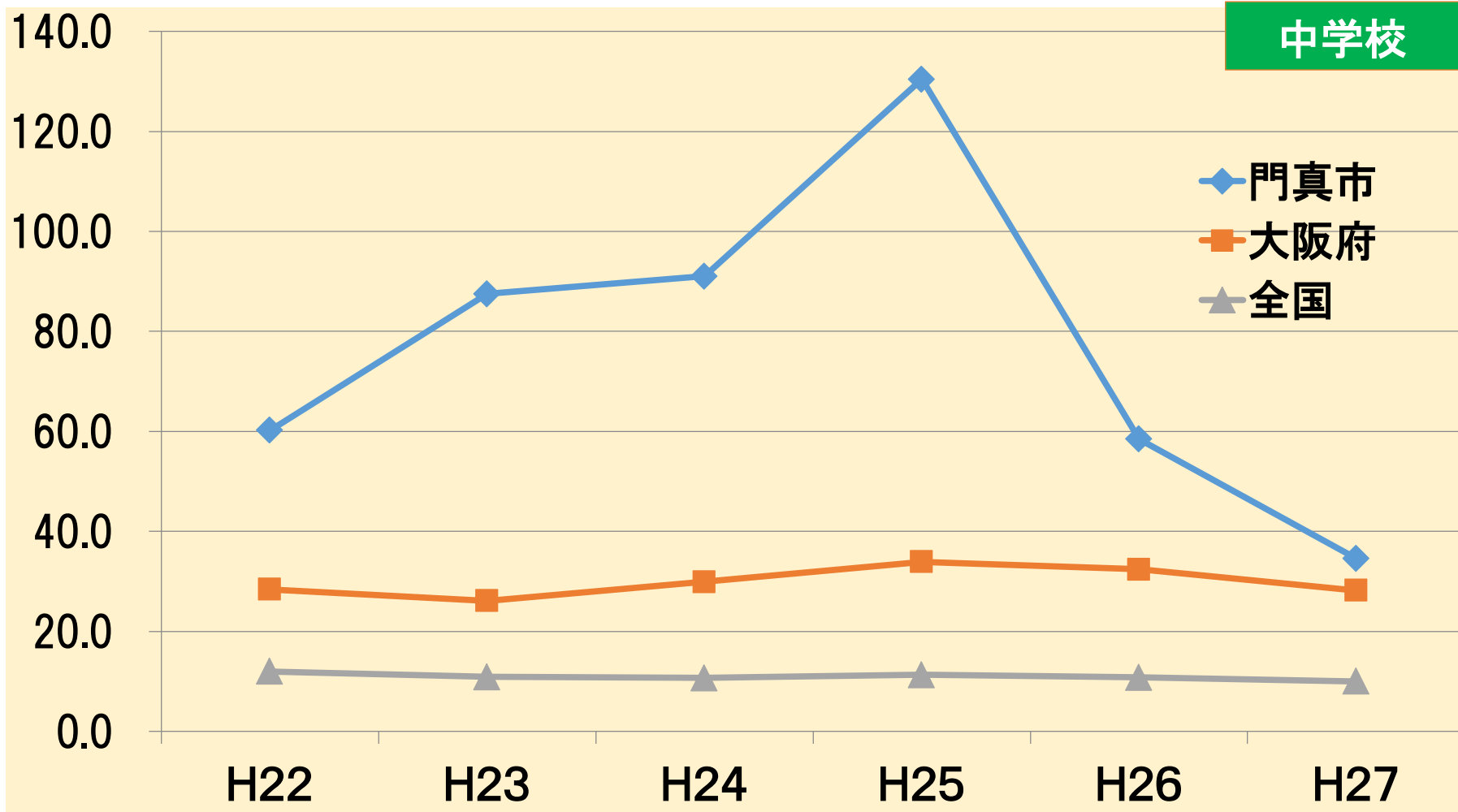
関係機関
と
つながる

専門家

- ・カウンセラー
- ・SSW など

- ・子ども家庭センター
- ・家庭児童相談センター
- ・警察 など

門真市中学校の暴力行為千人率の推移(H22~H27)

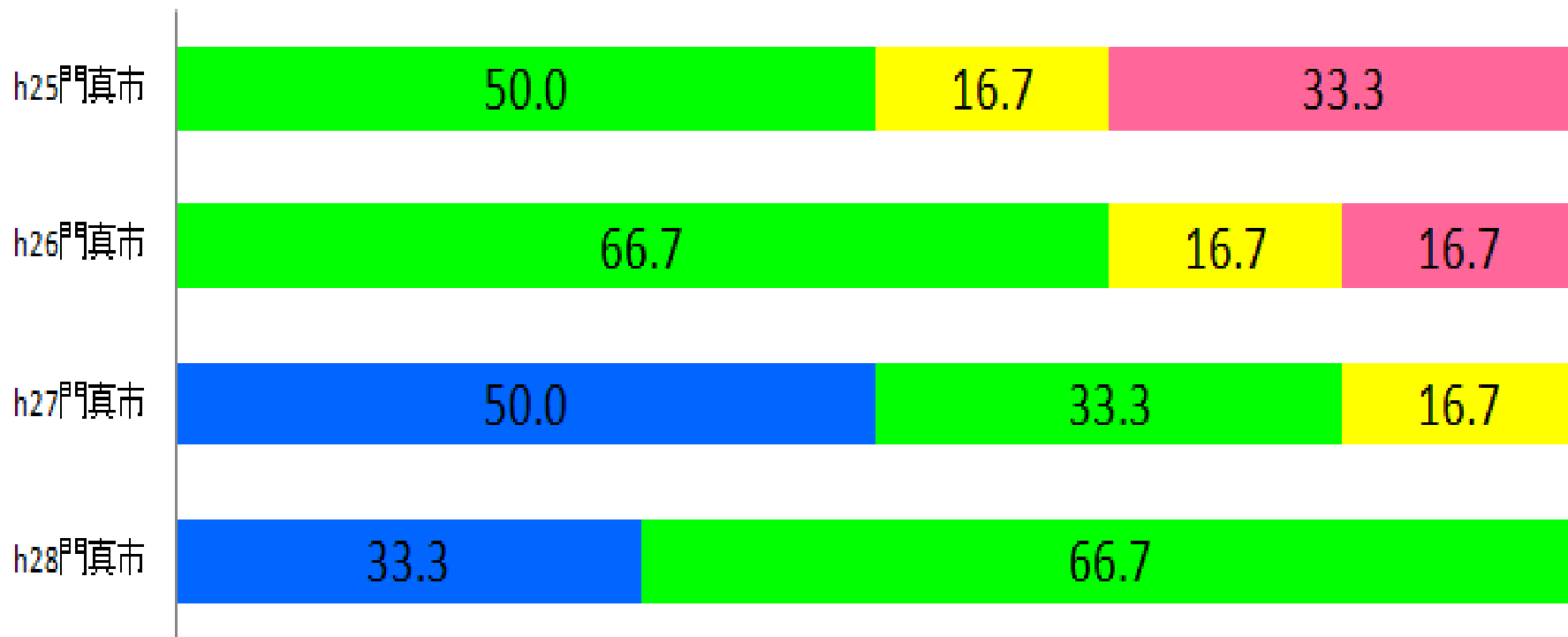


門真市中学校の暴力行為は、25年度まで全国や大阪府と比較して、千人率で高い状況にあったが、26年度から27年度にかけて大きく改善されている。

H28全国学力・学習状況調査における学校質問紙調査より(中学校)

生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いている(中学校)

■当てはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない



門真市中学校の授業中の様子は、一部の学校で26年度まで落ち着かない状況にあったが、27年度から改善し、今年度は落ち着かないと回答した学校はなくなった。